

## NPO法人市民の図書館・公民館こがねい設立趣旨書

### 1. 利用する市民から運営する市民へ

私たちはこれまで、行政＝公共サービスの担い手、市民＝公共サービスの受け手という関係を当たり前のこととして、公共施設を利用してきた。一方、市民のニーズは多様化し、柔軟性に富んだきめ細かな公共サービスの提供が求められている。市民協働による図書館・公民館の運営は、このことを可能にすると確信する。

私たちは、図書館・公民館をこよなく愛し、その大切さや発展の可能性に思いをはせる人々が集い、「地域に根差した親しまれる図書館・公民館」を目指して、図書館貫井北分室・公民館貫井北分館を市民協働により運営するため、NPO法人市民の図書館・公民館こがねいを設立する。そして、資料と人、人と人とを結びつけ、世代間交流の場をつくることなどにより、生涯学習の一翼を担っていく。これらを通じて、まさに第4次小金井市基本構想の基本理念である「参加と協働」を実践しようとするものである。

### 2. 「子ども・若者が本好きになる私たちの図書館」を目指して

私たちは、「いつでも、どこでも、だれでも、なんでも」利用できるサービスを提供するという小金井市立図書館の運営方針に共感し、図書館サービスの提供に参画する。

現在、図書館に対する市民要望で多いのは、開館日・開館時間の拡大である。また、「おはなし会」などの児童サービスやヤングアダルト(中学・高校生)サービスも十分に提供できているとは言い難い。幸い、貫井北センター図書館分室には、市民検討委員会の討議を経て、他の分室には無い「お話し室」や「ヤングアダルトコーナー」が設置される。

そこで、開館日・開館時間の大幅な拡大を実現するとともに、「目指す図書館像」を「子ども・若者が本好きになる私たちの図書館」とし、行政と協働してNPO法人ならではのきめ細かい図書館サービスを展開していく。そして、市民の力を合わせて、これまで積み重ねてきた小金井市立図書館の歴史と実績を継承し、発展させていく。

### 3. 「人をつくり絆を結ぶ私たちの公民館」を目指して

公民館の役割は言うまでもなく、市民の自己実現を支援するとともに、地域課題、現代的な課題を学んで地域力の向上に貢献し、地域住民の福祉を向上させることにある。まさに人をつくり、地域の絆を結ぶのが公民館である。

小金井市の公民館は、他市に先駆けて企画実行委員制度を導入するなど、市民・市民活動団体と行政が協力して運営してきた長い伝統がある。この基礎を生かすとともにさらに発展させ、新しい時代に対応した市民協働の場とするものである。

また、地域課題の多様化に伴い社会教育、生涯学習に求められる専門性の質が問われるようになった。市民からの学習相談や居場所の問いかけにも、行政だけでは十分に対応できず、日常的に地域住民に接して活動している団体の方がきめ細かい対応ができる場合も多くなってきた。

そこで、行政とNPO法人のそれぞれの良さを生かし、足りない部分を補い合う市民協働を、ここに実践しようとするものである。そして、①「信頼と安心をつくる」、②「生きがいへと結ぶ」、③「失敗に学ぶ」、④「時代と向き合う」、⑤「学ぶことを学ぶ」を5本の柱として、公民館事業を実施していく。

平成25年 8月 10日

設立代表者

昼間 守仁